

取扱説明書及び部品表

Takakita

細断型コンビラップ[®]用
クリーニング装置

MW1011-CC

適応機種

MW1011H



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**細断型コンビラップ用クリーニング装置**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、細断型コンビラップ本体の取扱説明書とこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『取扱説明書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この取扱説明書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	5
各部の名称とはたらき	6
トラクタへの装着	7
1. 油圧ホースの接続	7
運転に必要な装置の取扱い	8
1. 下オーガカバーの開閉	8
2. 横コンベアカバーの開閉	8
3. 上オーガカバーの開閉	9
作 業 方 法	10
1. 作業手順と要点	10
作業前の点検について	11
1. 点検一覧表	11
簡単な手入れと処置	12
1. コンベアチェーンの張り調整	12
2. ローラチェーンの張り調整	12
3. シェアボルトの交換	13
4. 長期格納時の手入れ	14
5. 各部への給油	14
不 調 診 断	15
付 表	16
1. 主要諸元	16
2. 主な消耗部品	16

！安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある**！**表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

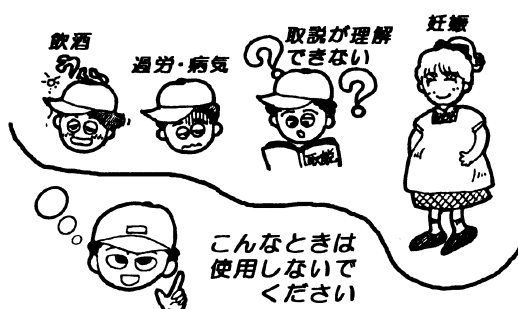
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

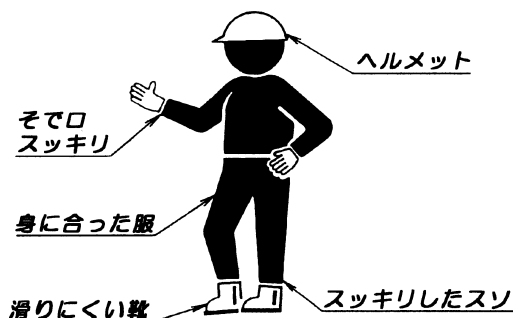
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 油圧取り出し：複動1系統

適正流量：約30～40ℓ/分

※流量の多いトラクタは、トラクタ側で流量を調整してください。

(4) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。また、改造をしないでください。

(5) 使用目的以外への使用禁止

本機は、細断されたコーンおよび牧草をロール成形する作業を目的とした機械です。

他の目的には使用しないでください。

(6) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



安全に作業するために

2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。

(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいにしてください。

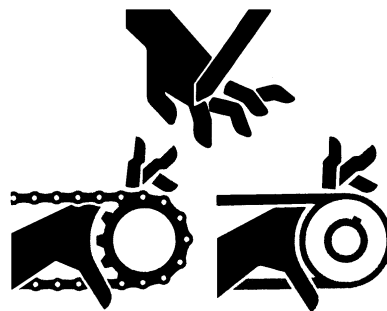
(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



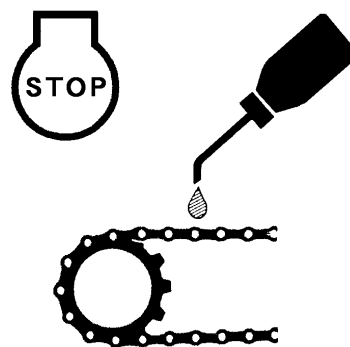
(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずトラクタの油圧レバーを戻し、エンジンを停止し、各部の回転が停止してから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

チェンへの注油は、必ずトラクタの油圧レバーを戻し、エンジンを停止し、各部の回転が停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部およびチェンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

！安全に作業するために

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

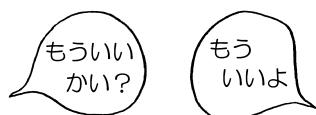
特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

(2) 回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(5) シェアボルトの交換のときは

油圧レバーを戻し、エンジンを停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。



(6) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取り外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締め付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがありますので、すぐに医療機関を受診してください。



(7) 高温油に注意してください

- ①高温油による傷害を防止するために、作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か十分温度が冷えてから行ってください。
- ②火傷やケガを負った場合は、速やかに医療機関を受診してください。

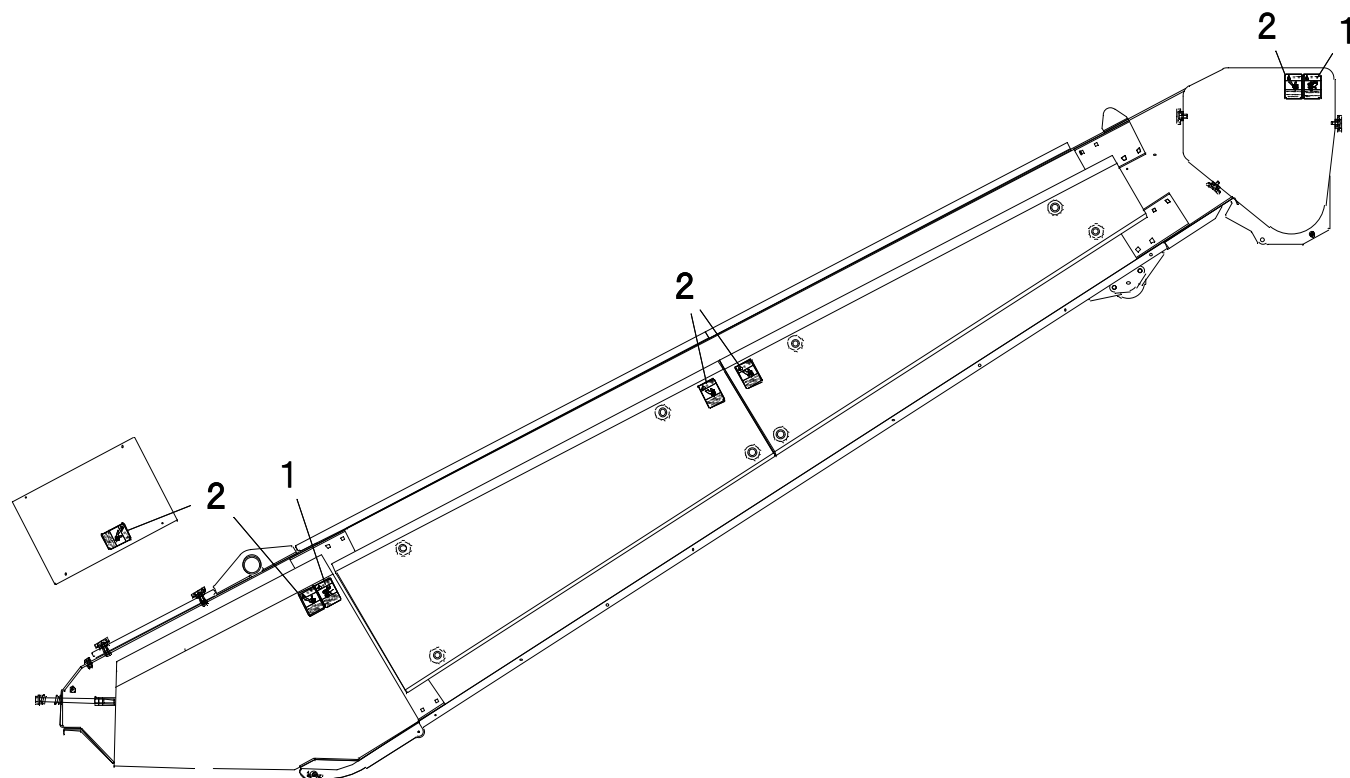


以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で **！** 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

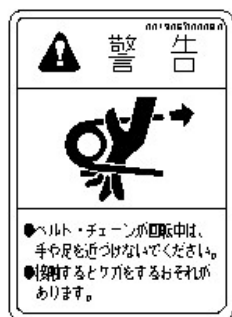
！ 安全に作業するために

4. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001306000080

②部品コード 001306000070



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、細断されたコーンおよび牧草の梱包にご使用ください。

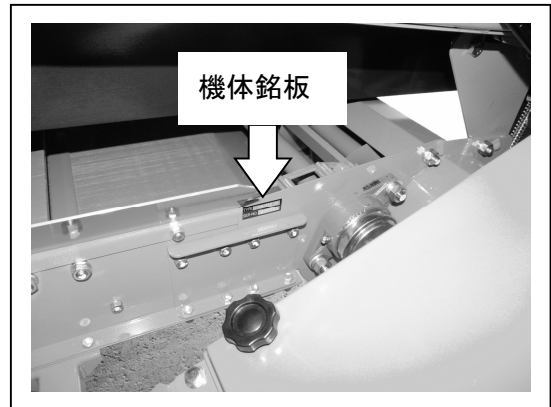
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、J A (農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

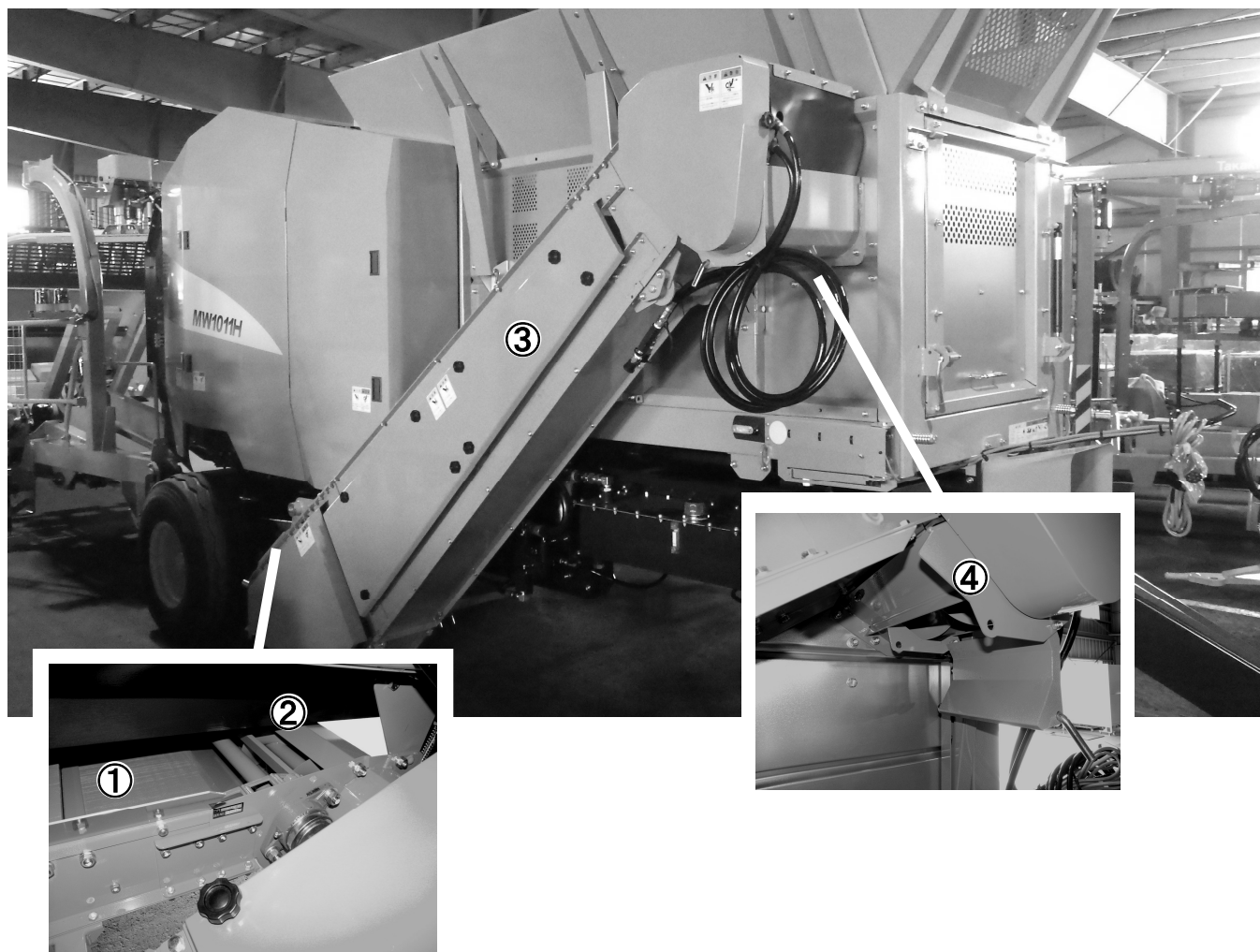
- 品名と型式
- 機体 No. (S E R - N o.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ク リ ー ニ ン グ 装 置
型 式	M W 1 0 1 1 - C C
機 体 No. (S E R - N o.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



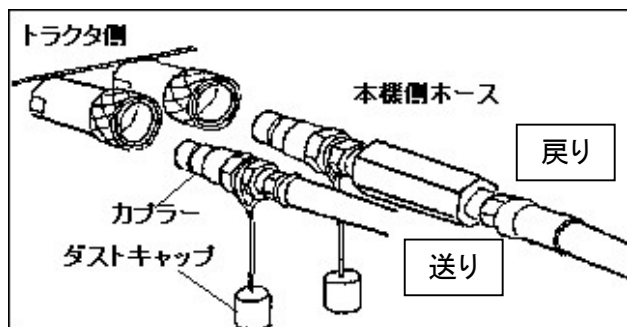
番号	名 称	は た ら き
1	下コンベア	材料を下オーガへ送る
2	下オーガ	材料を横コンベアへ送る
3	横コンベア	材料を上オーガへ送る
4	上オーガ	材料をホッパーへ送る

トラクタへの装着

1. 油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧レバーを動かして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホース（2本）をトラクタの複動カプラに確実に接続してください。



◆離脱する時も残圧を抜いてから

注意

- カプラ接続時はカプラ部分をきれいに拭き取り、ゴミなどのない状態で確実に接続してください。
ゴミおよび不確実な接続は、油圧システムのトラブルの元になります。
- 油圧ホースをトラクタから外した時は、必ず付属のダストキャップをカプラに差し込み、傷を付けないようにしてください。

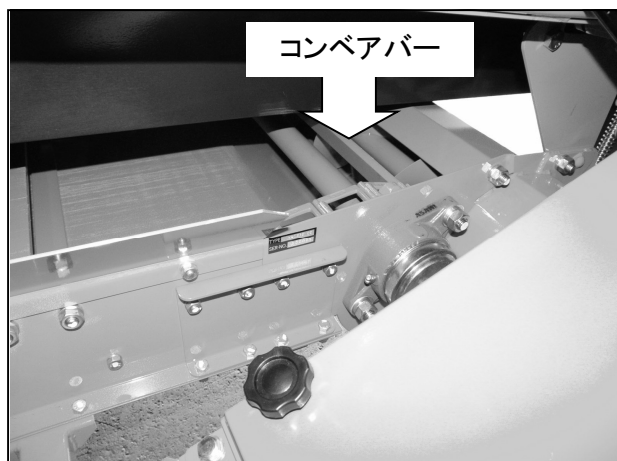
注意

- 本機は、逆転防止のため、戻り側に逆止弁を装着しており、トラクタのオイルが一定方向にしか流れません。
接続時には、油圧レバーの操作方向を確認してください。

2. 流量の調整

- 油圧の使用流量は約30～40ℓ/分です。
流量の多いトラクタの場合、流量調整バルブを絞り、調整してください。

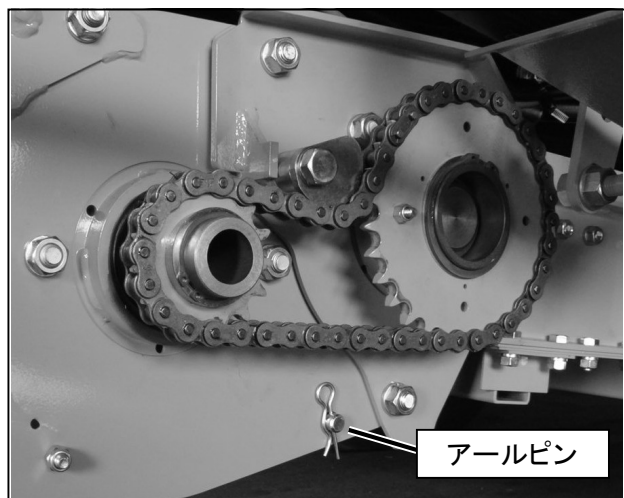
調整の目安は、下コンベアバーが約10～15秒で一周するように設定してください。



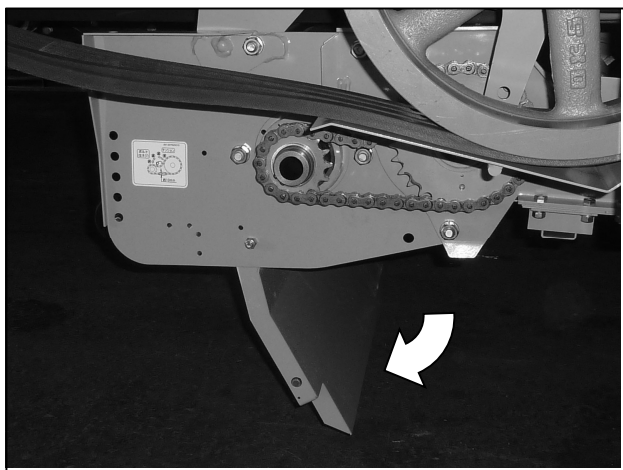
運転に必要な装置の取扱い

1. 下オーガカバーの開閉

つまりを取り除いたり、清掃時に使用します。



左右のアールピンを抜き取り、ピンを押し込んでください。ケースカバーを下へ引いて、ケースカバーを開けてください。閉じるときは、ピンを押し出し、アールピンを確実にセットし、開き止めをしてください。

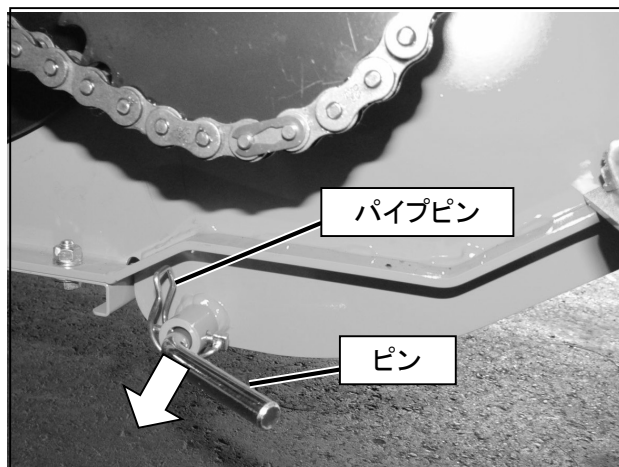


⚠ 警告

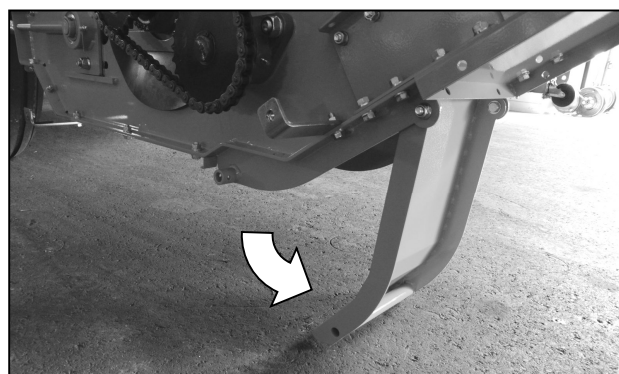
つまりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。

2. 横コンベアカバーの開閉

つまりを取り除いたり、清掃時に使用します。



パイプピンを外して、ピンを抜き、カバーを下へ引いて、開けてください。



トラクタのエンジン回転をアイドリングにし、本機を作動させてください。

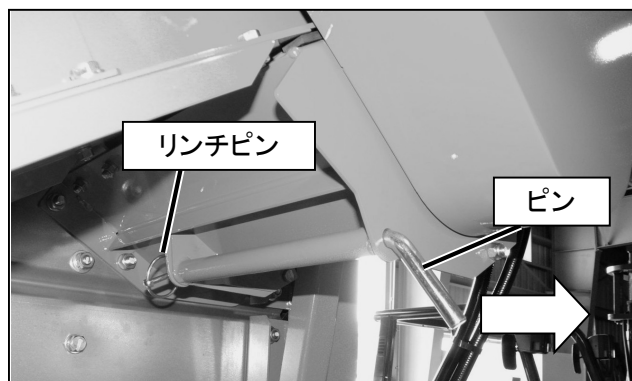
⚠ 警告

つまりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。

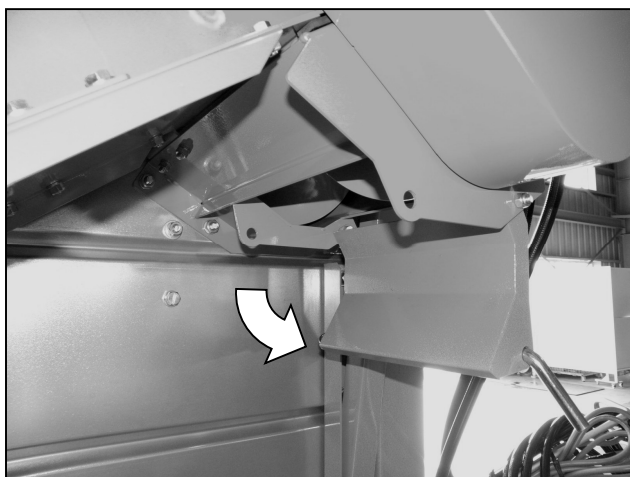
運転に必要な装置の取扱い

3. 上オーガカバーの開閉

つまりを取り除いたり、清掃時に使用します。



リンチピンを外してピンを抜き、カバーを下へ引いて、開けてください。



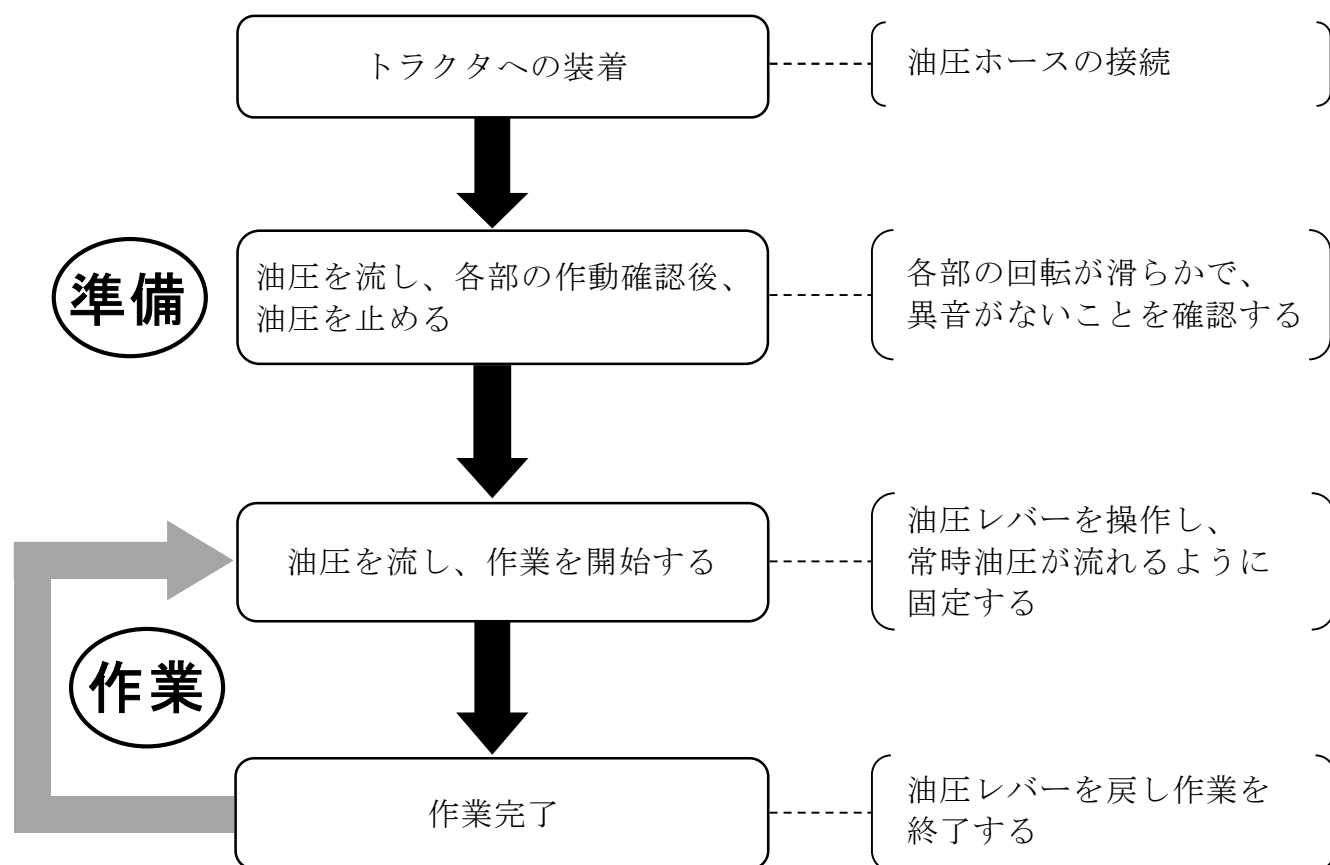
トラクタのエンジン回転をアイドリングにし、本機を作動させてください。

警告

つまりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警告

- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
●点検・整備をするときは、必ずエンジンを停止して、回転部が止まってから行ってください。

1. 点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	前回使用の異常箇所	修理、補修が完全に行われているか	—	
2	損傷、汚れ、ボルトのゆるみ	機体の損傷、ゆるみ、ガタつきがないか	—	
3	コンベアチェーンの張り	適正な張力となっているか	12	
4	ローラチェーンの張り	適正な張力となっているか	12・13	
5	各部の回転	各部の回転は正常か	—	
6	各部への注油・グリスアップ	各部への給油は十分か	14	

以上について異常が認められない場合は、エンジン回転速度を低速にして負荷をかけず、3～5分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

[illegible]

簡単な手入れと処置

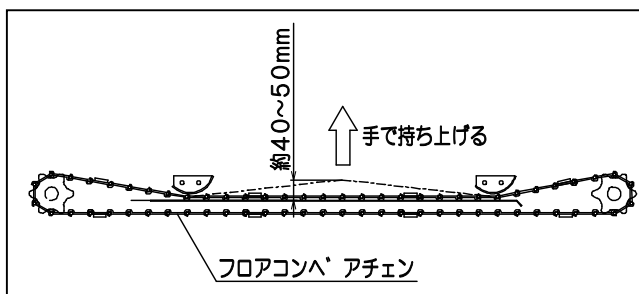
警告

- 各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止して回転部が完全に止まってから行ってください。
- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。

1. コンベアチェーンの張り調整

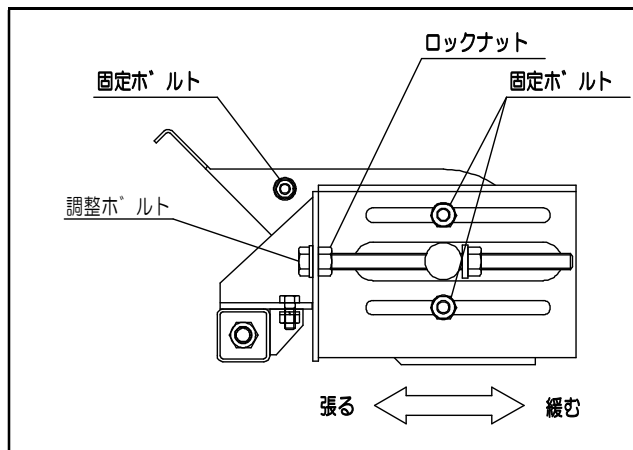
◆下コンベアチェーン

コンベアバーの中央部を手で持ち上げて、レールとの距離を“40～50mm”になるように調整します。



●調整のしかた

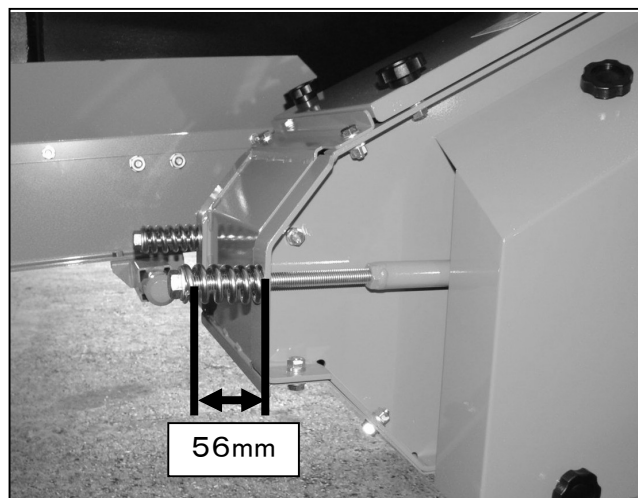
- ①固定ボルト(3本)を緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ボルトで張りを調整する。
- ④ロックナット、固定ボルトを締める。



※左右均等に調整してください。

◆横コンベアチェーン

ボルトを回して、バネの長さ約56mmに調整してください。



※左右均等に調整してください。

2. ローラチェーンの張り調整

注意

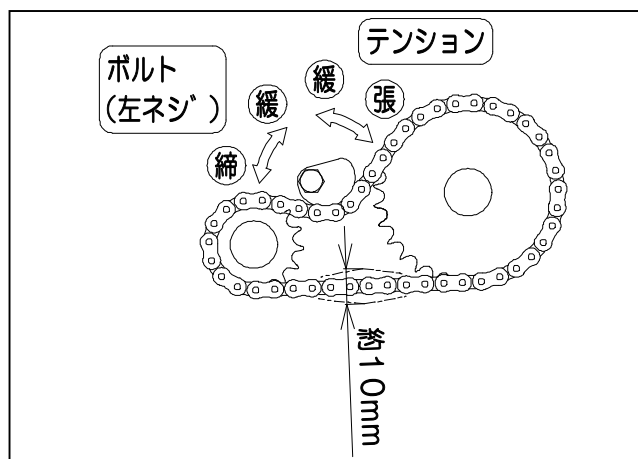
ローラチェーンは特に初期伸びをします。初めての使用から10時間後は次に従って、張り調整を行ってください。

◆下コンベア駆動チェーン

たわみ量が約10mmになるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①テンショナー固定ボルト(左ネジ)を緩める。
- ②テンショナーを時計回りにローラチェーンに押し付け、たわみ量を調整する。
- ③テンショナー固定ボルト(左ネジ)を締める。



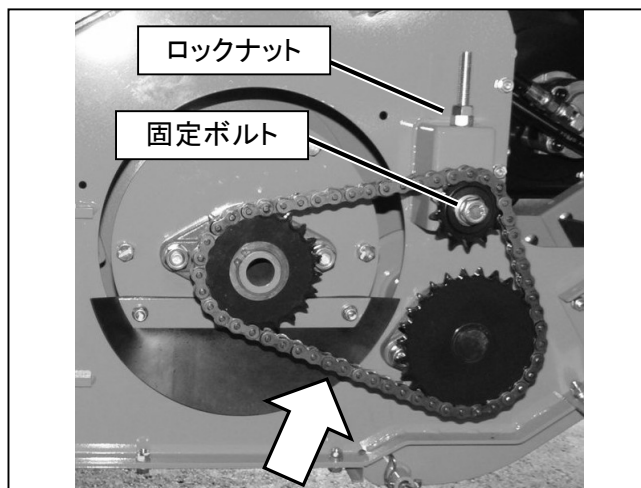
簡単な手入れと処置

◆下オーガ駆動チェーン

チェーンの矢印で示した部分のたわみ量が約10mmになるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①テンションプロケットの固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩め、たわみ量を調整する。
- ③テンションプロケットの固定ボルトを締め、ロックナットを締める。

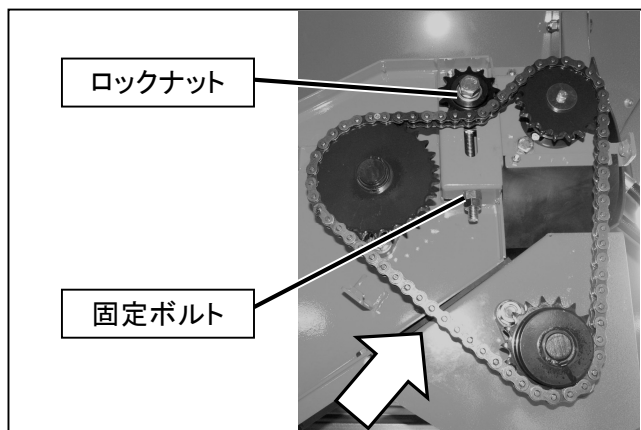


◆横コンベア・上オーガ駆動チェーン

チェーンの矢印で示した部分のたわみ量が約15mmになるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①テンションプロケットの固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩め、たわみ量を調整する。
- ③テンションプロケットの固定ボルトを締め、ロックナットを締める。



3. シェアボルトの交換

◆下コンベア部

下コンベア部に、過負荷がかかったときに、ボルトがせん断され、本機の損傷を防止します。

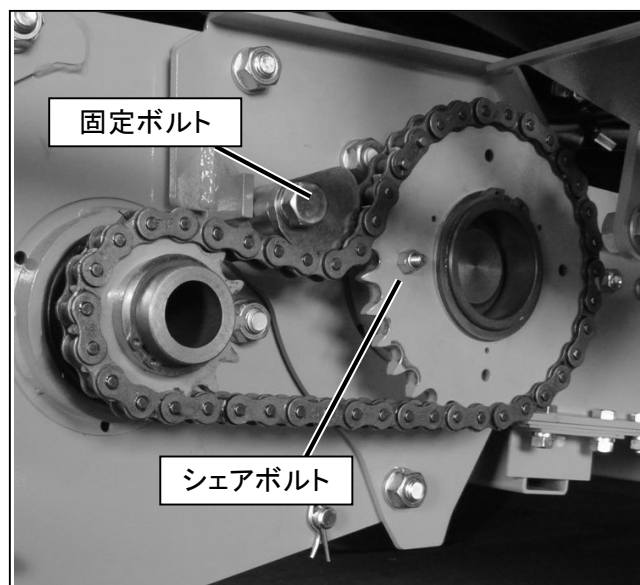
●シェアボルトのサイズ

ボルト M6×30(4.8T)

ナット M6ナイロンナット

●シェアボルトの交換

- ①シェアボルトがせん断された原因を取り除いてください。
- ②せん断させたボルトを除去する。
- ③テンショナー固定ボルト(左ネジ)を外し、テンショナーを外す。
- ④シェアsproケットとチェーンを回し、ボルト穴を合わせてから、シェアボルトとユルミドメナットを締めてください。
- ⑤テンショナーを取りつけ、チェーンのテンションを調整してください。



簡単な手入れと処置

4. 長期格納時の手入れ

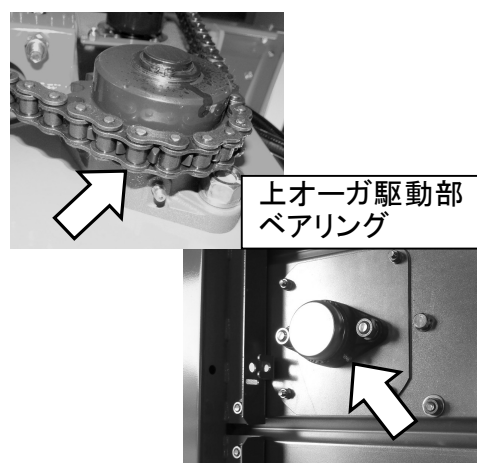
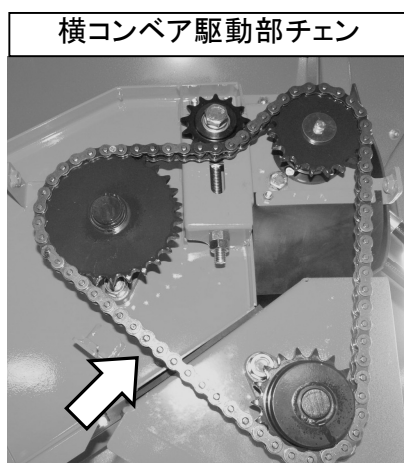
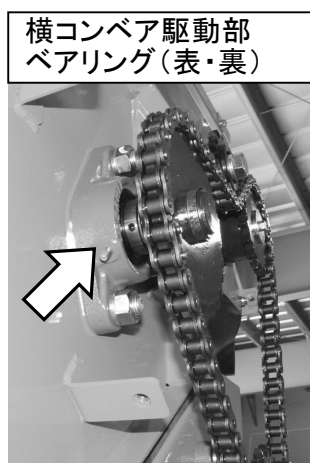
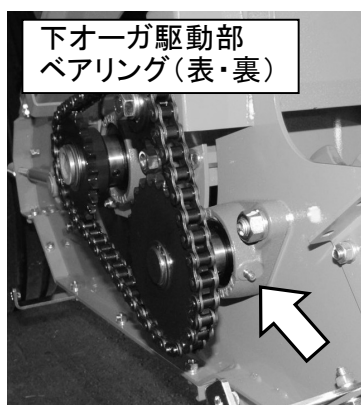
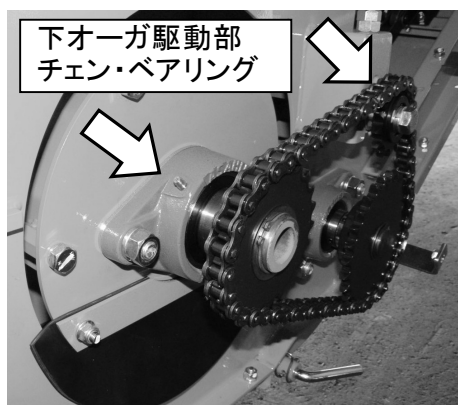
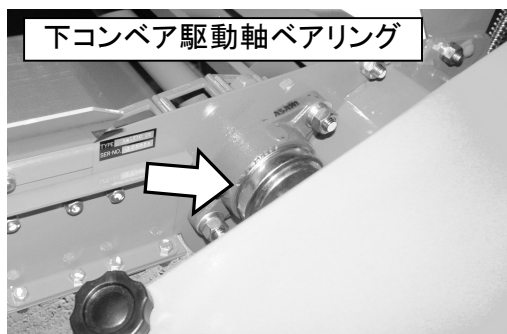
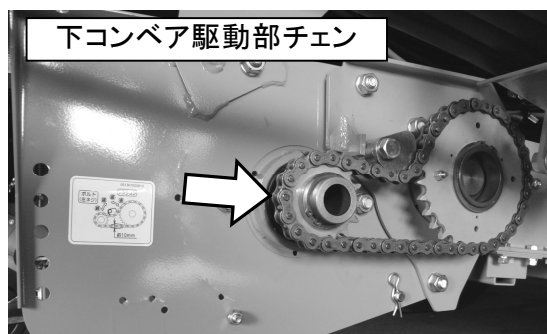
作業が終了したら、次期の使用時に備え、末長くご利用いただくためにも、十分なお手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した飼料、泥やほこりなどを念入りに取り除いてください。
- 乾燥後は各回転部、チェン、スプロケットに十分注油またはグリス塗布をし、錆びないようにしてください。

- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り錆びが出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいるところは締めてください。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な場所で保管してください。

5. 各部への注油

下図の所へ注油、グリスアップしてください。



不調診断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照ページ
●本機が動かない	●油圧ホースが接続されていない ●トラクタからオイルが供給されていない	●油圧ホースを接続する ●トラクタの油圧レバーを操作する ●トラクタの油圧レバーを操作する方向を変える	7
●下コンベアが動かない	●シェアボルトが切れている	●シェアボルトの交換 ●つまりを取り除く	13
●チェンが歯飛びする	●チェンが緩んでいる ●過負荷がかかっている	●チェンを張る ●つまりを取り除く	12 13 8・9

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

付表

1. 主要諸元

型 式	MW1011-CC
対 称	クリーニング装置
駆 動 方 式	トラクタ油圧(複動1系統)
質 量 (kg)	470

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
シェアボルト	01154 5060 30A	M6×30全ネジ M6ナイロンナット (10本セット)
PEチェーンガイド U	68103 7175 001	
PEユカイタ	79127 7215 000	
PEチェーンガイド T	68103 7336 001	
コンベアバーゴム	68103 6232 000	
コンベアバーゴムCL	68103 6234 000	